

北区まちづくり運営方針

将来像 目指す姿

だれもが豊かで安心・安全に住み続けられるまち、だれからも愛されるまち、「北区」

先人たちが大切にしてきた豊かな自然の恵みや伝統ある文化、人とのつながりといった“北区の価値”を将来にわたって継承します。それらを基軸として、都市エリアから山間エリアまで、新たなまちの魅力を生み出しながら、区民がこれからも住み続けたいと思える安心・安全でウェルビーイングなまち、国内外の人々から愛されるまちであり続けることを目指します。

まちづくりの方向性(中期目標 令和8年度～12年度)

みんながつながり、 北区の未来を共に創る楽しいまち

- ◆ 区民、事業者、大学、行政など、多様な主体が垣根を越えてつながり、すべての人に「居場所」と「出番」のあるまちづくりを進めます。
- ◆ 長い歴史の中で地域が育んできた多彩な「知恵」「技」「文化」を次の世代につなげるまちづくりを進めます。
- ◆ 北区の価値や魅力を広く発信することで、北区を深く理解し、北区愛にあふれた人たちを増やすまちづくりを進めます。

みんなで作る 安心安全なまち

- ◆ だれもが安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ 区民、事業者、大学、行政などあらゆる主体が連携し、つながりの力で、災害に強いまち、防犯力の高いまちを作る取組を進めます。

いきいきと健やかに暮らせるまち

- ◆ みんながお互いを尊重し合い、支え合うことで、だれ一人取り残されないまちづくりを進めます。
- ◆ すべての世代がいきいきと健やかに暮らせるよう、「健康長寿のまち・北区」の実現に向けた取組を進めます。
- ◆ 障害のある人もない人もすべての人が違いを認め合い、支え合うまちづくりを進めます。
- ◆ すべての子どもが大切にされ、健やかに成長できるまちづくりを進めます。

区役所が 目指す姿

- ◆ 区役所の職員全員が、区民の声にしっかりと耳を傾けるとともに、親切で丁寧な対応を心掛け、区民に信頼され、頼りにされる区役所づくりを推進します。
- ◆ 区役所が結節点としての機能を果たせるよう、職員が地域に赴き、対話・議論を重ね、あらゆる主体がつながるための取組を推進します。



令和8年度 主な取組

令和8年度は、これまで以上に区役所が結節点となり、培ってきた区内の様々な「ヒト・モノ・コト」「場」がさらに連携・融合する取組を推進し、“つながり”の力を一層強めることで、多様な主体が交ざり合うウェルビーイングなまち北区の実現を目指します。その推進のために取り組む主な事業を以下に掲載します。

つながる力を高める取組

北区みんなを結ぶ事業

- ◆ 区役所の交流スペースや休校中の小学校を活用し、様々な「人」「情報」が集まり、交流が生まれる「場」を整備。ワークショップや講座の開催のほか、市民相互のニーズが見える化し、結びつけるマッチングボードを区役所の交流スペースに設置。
- ◆ 小学校の学校運営協議会と連携し、幅広い年代の居場所づくりに向けた取組を実施。

北区民まちづくり提案支援事業の充実

- ◆ 区民の自発的・自主的なまちづくり活動を支援。今年度は、「つながり支援枠」を新設し、複数の団体をつなぐ取組等に対しての補助を強化。

北区の魅力や価値を学び合い、 発信することで、次世代へつなぐ取組

北区「WA(わ)のころ」創生事業

- ◆ 北区ゆかりの文化人や北区内の大学と連携し、北区「WAのころ」創生事業の実施を通じ、“ほんまもん”の文化や歴史等を学び合う機会を創出し、次世代へ継承。

「第4回京都キタ短編文学賞」や 「北区ふれあい 銭湯ツアー」

- ◆ 全国から応募がある北区が舞台の文学賞・キャンペーンを通じて北区の魅力を発信。
- ◆ 70周年事業で好評であった「北区ふれあい 銭湯ツアー」を継続し、北区に多く残る銭湯を「場」として活用し、世代を超えた交流を促進。

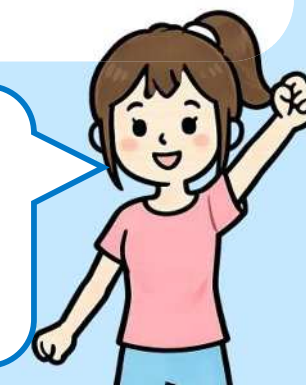
だれもがいきいきと健やかに暮らせる取組

「健康長寿のまち・北区」の推進

- ◆ 区民に浸透している「キタエちゃん体操」「インターバル速歩」を継続。今年度は、新たに健康づくりを学び合う連続講座を開催。

推進にあたって

本運営方針の着実な推進のため、事業の実施やその進捗について、市民しんぶん北区版や北区HP等の多様な媒体を活用するとともに、区が主催する各種会議はもとより、地域の方々が集う場など、様々な機会を通じて、広く発信します。



上京区まちづくり運営方針

基本理念

歴史と文化を未来へ紡ぎ、皆がいきいきと暮らせるまち

すべての区民が主人公となり、これまで大切にされてきた上京ならではの歴史や文化を尊重しつつ、新たな価値観を柔軟に取り入れ、未来へ紡ぐ創造性豊かな地域社会を目指します。将来にわたって、多様な人々が世代を超えて互いにつながり、支え合い、安心して、自分らしくいきいきと暮らせる活力あるまちを創り上げます。

4つの将来像

将来像1 歴史・文化と新たな価値観とが調和し、未来を創造するまち

茶道や西陣織に代表される上京ならではの文化・産業、地域行事を大切にし、より多くの人がそれらに親しむ機会をつくることで、地域で受け継がれてきた豊かな歴史・文化を未来に紡ぎます。

加えて、新たな価値観を柔軟に取り入れ、学藝をいかし、常に進化し続ける創造性あふれるまちを目指します。

将来像2 多様な人々がつながり、安心・安全に暮らせるまち

子どもや若者、高齢者、障害者、外国籍市民など多様な人々が、地域の中でゆるやかにつながり、互いに支え合い、認め合いながら暮らせるまちを目指します。

災害に強いまちづくりや安全な生活環境の確保、自治会・町内会への加入促進、暮らしの中で環境を大切にする取組等により、将来にわたって誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。

将来像3 「居場所」と「出番」があり、いきいきと輝くまち

誰もが地域の中に「居場所」と「出番」を持つ機会を作り、生きがいや希望を持って暮らせる環境づくりを進めます。

上京で培われてきた地域の福祉力を活かして、すべての人が心身ともに豊かでいきいきと輝くまちを目指します。

将来像4 学びと交流を通じて、希望あふれる未来を育むまち

地域全体が「学びの場」となり、一人ひとりが知的好奇心を満たし、生涯にわたって成長できるまちを目指します。

大学をはじめとする教育機関や地域活動との連携などを通じて、多世代・多文化の人々が活発に学び合い、交流する機会を創出します。

誰もが自身の持ち味を発揮し、互いに助け合う気運を高めることで、若者や子育て世代が未来に希望を持ち、主体的に地域づくりに参加する意欲にあふれた活力あるまちを実現します。

令和8年度の主な取組（上京区における「区H u bによるまちづくり推進事業」）

①魅力発信、文化振興等の取組

1 上京文化振興事業 【将来像1】

上京区の歴史ある伝統文化の継承と発信を目指し、薪能、茶会、文化絵巻等の開催を通じて、新しい上京文化の創造を推進する。

②地域防災や市民生活の安心・安全の取組

2 地域の防災力・減災力UPプロジェクト～新たな防災拠点づくり～ 【将来像2】

自助・共助・公助の力の更なる向上に向けて、区内の社寺等の協力を得て、災害発生時の避難者の受入・支援物資等の供給を図る。

3 学区の安心安全ネット継続応援事業 【将来像2】

学区が自主的・主体的に行う安心安全に関する取組を支援する。

③地域のつながりを維持・向上させる取組（「つながる」「支え合う」「創り合う」取組の強化）

4 上京区民まちづくり活動支援事業 【将来像1～4】

区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの活性化と区民参加によるまちづくりを進める。

5 上京ふれあいネット「カミング」運営事業【将来像1～4】

区の情報発信サイト「上京ふれあいネットカミング」及びインスタグラムにより、区内のまちづくり活動や地域文化等の情報発信の充実に取り組むとともに、取材を通じてできたつながりを活用し、地域コミュニティの活性化を目指す。

6 上京区民ふれあい事業 【将来像1～4】

上京区民ふれあいまつりや史蹟ウォーキングの開催等を通じて留学生等の外国籍市民も含めた幅広い世代が交流できる場を創出するとともに、上京区の魅力の再発見、地域愛の向上を図る。

7 「上京区まちづくり運営方針」の推進 【将来像1～4】

上京地域コミュニティH u bの取組や、新しいまちづくりを生み出す場である「上京！MOW」の開催、地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト等を実施する。併せて、上京地域コミュニティH u bの取組として、「上京をMOWっと「X（クロス）」プロジェクト」「上京学び合いプロジェクト」を実施する。

④健康やいのちを守る取組

8 地域と協働して取り組む健康づくり 【将来像2、3】

運動を通じて、口腔・栄養等を含めた健康づくりの意識を高めるため、関係機関や地域コミュニティと協力して健康教室などの事業を実施し、知識の普及・啓発を行う。

9 上京区ふくしをなんでもしっとこ講座【将来像2、3】

住み慣れたまちで安心していきいきと暮らすことができる地域づくりを目的に、地域福祉への理解を深めるため、大学や福祉組織と連携して講座を開催する。

⑤人口減少や少子化対策の取組

10 空き家問題未然防止プロジェクト 【将来像2】

空き家の危険性等の問題周知や予防啓発のため、啓発パネルの作成及び地域イベントへの参画等に取り組むとともに、空き家所有者への各種手続きに係る相談会を実施する。

11 上京をMOWっとプロジェクト 【将来像1～4】

定住・移住、関係人口の増加に向け、より多くの人が上京区の魅力を知り、触れ、体験する機会を創出するため、上京 de 婚活、おこしやす上京 Season3「上京の生活に触れる」、京菓子ハレモケモ。の3事業を実施する。

12 上京の子どもまつり 【将来像3、4】

民生児童委員、主任児童委員を中心に上京区内の子育てに関わる様々な団体が連携し、子どもたちの健やかな成長と子育て支援のネットワークづくりを目的として、子ども同士のふれあいや伝統文化体験、学習、遊びの場を提供する。

13 上京えんじえる応援団子育て応援事業 【将来像3、4】

乳幼児とその保護者を対象とした定期的な交流の場づくりや、地域の子育て応援施設がわかるマップ等を作成するとともに、子育て世帯と地域等の関係づくりを強化し、地域全体で子育てしやすいまちづくりを目指す。



「左京区まちづくり運営方針」

「左京区まちづくり運営方針」は、この左京のまちで、区民や左京に関わるすべての人々と一緒にまちづくりを進めていくために、どのようなまちにしていきたいか、そのためにどのようなことをしていくのかを示すものです。

目指す姿（計画期間：令和8年度～令和12年度）

「左京に暮らし、働き、学び、関わるすべての人々」が、左京の自然や文化の中で、自分らしく過ごし、誰かとつながりたいとき、つながりが必要などときには、見つけることができるまち。また、人を助ける側だった人が、ときには助けられる側にもなる、そんな「お互いさま」の心があるまち。

皆様と共有したい思い



「地域の防災訓練」

「お互いさま」の心がある、人の温もりに満ちたまちにしていくため、以下の3つの思いを大切にしましょう。

- ・近所の方とあいさつを交わすなど、地域でのつながりを大切にする。
- ・住んでいる・関わっている地域への愛着と誇りを持つ。
- ・国籍や文化が異なるなど、多様な背景や立場をお互いに理解する。

まちづくりの方向性

目指す姿の実現に向け、左京区役所が多様な人や活動をつなぐ「結節点」となり、このまちに関わる人々が思いを共有し、一緒にまちづくりに取り組んでいけるようサポートします。



「つながりの場」

柱1 地域に根差した多様なつながりを育む

自治会などの地縁団体、ボランティア団体などの志縁団体や事業者、留学生をはじめとする外国籍市民など多様な方々と共に、子どもから高齢者まで、人と人、人と活動がつながり、互いに支え合う関係を育んでいきます。また、区民の困りごとを部署の垣根を越えて区役所全体で共有し、きめ細かな対応を行っていきます。



「鞍馬の火祭」

柱2 左京の個性をいかす

豊かな歴史と多彩な文化を有し、大学が多く、文化施設が集積するなど個性のある左京。地域の個性をいかしたまちづくりを進めるとともに、まちに息づく多彩な「学藝（がくげい）」－先人たちが育んできた知識、芸術、技術、地域独自の文化－を再発見し、学び合う場を共に創り出していきます。



「鴨川デルタ」

柱3 自然と共生する

左京の暮らしや食文化をかたちづけてきた豊かな自然の恵みに感謝し、親しむ機会をつくっていきます。一方で、災害の多い地域であり、行政等による「公助」がすぐに届かない場面でも、地域の「つながり」から生まれる「共助」と「自助」の力を育み、支えていきます。



「北山友禅菊」

柱4 北部山間地域のまちづくりを進める

北部山間地域は、区民共通の資産である豊かな自然や伝統文化を有する一方、過疎化が進展しています。都市部と山間地域のつながりと交流を育むとともに、地域の方々と手を携え、元気に暮らし続けられるまちづくりを進めます。

令和8年度 主な取組

（1）共創を核とするまちづくり推進事業 柱1 柱2

区内で取り組まれる、まちの魅力向上や地域課題の解決に向けた、自主的なまちづくり活動への補助を行います。また、地域の多様なネットワークを広げるための取組を進め、「共に創る」まちづくりを後押しします。

（2）左京区民ふれあい事業 柱1

左京への愛着を育み、地域の方々の交流を深めるため、各種団体等との協働により、左京区民ふれあいまつり等を開催します。ふれあいまつりでは「子ども」をテーマとし、子ども目線・保護者目線・地域目線で、子どもが安心して過ごせ愛着を持てる地域について考え、地域交流・多世代交流を進めます。

（3）災害に強い左京区づくり事業 柱1 柱3

地域の特性に応じた「地区防災計画」づくりを支援します。また、安心安全な避難所運営ができるよう、自主防災会への備蓄品購入支援を継続するとともに、避難所ごとの「運営マニュアル」の更新を支援します。

（4）区制100周年^{*}を見据えた地域の魅力創造発信事業 柱1 柱2 柱4

北部山間地域から都市部に広がる地域の文化や自然、独自の取組など、左京の持つ様々な魅力を発掘し、広く発信していきます。また、地域で継承されてきた「学藝」の価値や、それを支える人々の思いを再認識し、区民が地域の文化に関心と誇りを深める事業や、区外の多くの方々にも、左京の豊かな魅力を深く知っていただくための事業を展開します。（※令和11年度）

詳しくはこちら





ひと・まち・文化 中京区

～Hubでつながるウェルビーイングのまち～

中京区は昭和4(1929)年に、上京区南部と下京区北部を区域として誕生しました。市街地のほぼ中央に位置し、平安京の時代から日本の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。

現代においても、京都市役所をはじめ、男女共同参画センターウィングス京都や中央図書館、芸術センター等の京都市の公共施設が集積し、国・府の施設である京都地方気象台や文化博物館が立地しています。

1万を超える事業所を有し、伝統的なものづくりに加え、商業、観光、金融、医療などの幅広い業種が京都の経済活動の中核を担っています。交通アクセスが良く、地元で親しまれる商店街、洗練された商業施設、市内屈指の繁華街があり、多様な人々が中京区に様々な形で関わり、まちのにぎわいを創出しています。

また、世界遺産元離宮二条城をはじめ、京町家の町並みなど、歴史を感じさせるスポットがまちなかに数多く点在します。近代までの上京・下京・三条台村・聚楽廻り・西ノ京・壬生などで継承されてきた伝統行事や生活文化は今も地域で大切に守られ、住民の自治意識が高く、各学区の地域活動や年間行事が盛んです。

人口は自然動態が減少傾向の一方、社会動態はプラスで推移し、ここ数年は約11万人台を維持しています。平均年齢は市全体より若く、働き盛りの割合が市の水準を上回る一方で、単身世帯・共同住宅の増加、少子高齢化の進展等で、地域のつながりが薄れつつあり、自治組織の担い手不足が課題です。また、地域の文化や豊かな生活を支えてきた伝統産業が、生活様式の変化や後継者不足により、継承が危ぶまれています。

これまで「中京クーチャーセンター」や「中京マチビト café」を中心に、地域課題の発見と担い手の発掘、対話と協働を通じたまちづくりに取り組んできました。これらの取組を礎として、**ひと・まち・文化がつながる「中京地域コミュニティ Hub」(結節点)**としての取組を進め、令和11(2029)年の区制100周年、そして未来へ向けて、多様な主体と対話を重ねながら、**誰もが幸福を実感できる「ウェルビーイングのまち」**を目指します。

まちづくりの方向性

ひと 1 ゆるやかにつながるまちづくり

人口は微増の傾向ですが、比較的若い住民で構成され、単身世帯、マンション住民が多く、地域活動の担い手不足が課題です。従来の地縁によるつながりだけでなく、誰もが気軽に参加でき、互いの多様性を尊重しながら、ゆるやかに支え合いつなげるまちを目指します。

2 子どもをはぐくむまちづくり

合計特殊出生率は0.86人(令和6年・全市1.01人)で、少子化が急速に進行しています。地域全体で子どもを見守り育てる風土を大切に、遊びや学びの場の充実、子育てにおける孤立の解消、虐待の予防等、行政・地域・家庭・企業が連携し、次世代の子どもたちをはぐくむまちづくりを進めます。

まち 3 安心してすこやかに暮らせるまちづくり

少子高齢化や単身世帯の増加を背景に社会や地域から孤立する人が増えています。地域のつながりを基盤に防犯・防災意識を高め、子どもから高齢者、障害者、外国籍市民まですべての人が安心して健康に暮らせる居場所と地域や社会に貢献できる出番のあるまちを目指します。

4 チャレンジや創造が生まれるまちづくり

府内で最も多い約1万を超える事業所を有し、魅力的な企業や地域に根差した商店が多くあります。加えて、大学生をはじめとする若者のアイデアや意欲を生かすことで、多様な主体が互いに交流を深め、地域の課題解決に向けた連携や支援を促します。

文化 5 歴史文化、学藝を次世代につなぐまちづくり

多彩な歴史文化と学問・芸術・文化・産業・祭り・スポーツなど様々な分野の担い手が豊富に存在していますが、社会情勢の変化でこうした「ほんまもん」が失われる危機にあります。歴史文化や学藝の魅力を発掘するとともに、多様な学びの機会を創出し、次の世代へ伝えていきます。

6 自然を大切にするまちづくり

緑被率が約10%と緑が少ないですが、自然素材に囲まれた京町家、坪庭や生け花、四季のしつらえ等を通じて、暮らしの中で自然を大切にする文化が大切にされてきました。環境に配慮したライフスタイルやまちなか緑化の取組を推進し、広く発信することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

令和8年度 主な取組・事業

ひと 1 ゆるやかにつながるまちづくり

- 中京Hubによるまちづくり
・身近な公共空間等を活用し多様な主体とのつながりを促進
 - 中京区ボランティアフェス
・区内のボランティア、市民グループの活動を知り体験するイベント
 - いばしょクリスマス会
・子どもの居場所づくり団体や企業等が合同で開催するイベント
 - 自治会ICT化促進支援事業
・デジタル回覧板の導入、スマホ教室等で地域活動の負担を軽減
 - 地域のICT化担い手育成事業
・地域と学生団体の交流会や先進事例の共有により担い手を育成
 - 中京区民ふれあいまつり
- ### 2 子どもをはぐくむまちづくり
- ふれあい子ども体験教室
 - 子育ての孤立化の解消・虐待予防
 - 子育て支援ネットワーク活動
・きつぱあく、児童館、図書館、集いの広場での出張相談、講話等
 - 中京区子ども・若者の居場所ネットワーク
・こども食堂、学習・不登校支援等を行う居場所運営団体の連携



中京ボランティアフェス



ふれあい子ども体験教室



みつばちウォーク

まち 3 安心してすこやかに暮らせるまちづくり

- 学区の安心安全ネット継続応援事業
- 「誰かのために何ができる」防災事業
・防災フェア、避難所運営訓練、学校の防災授業、ペット防災等
- 高瀬川周辺一斉清掃
- 木屋町通周辺のごみ拾い活動
- 中京区民ふれあい健康ウォーキング
- 中京まるごと健康大作戦! ～つなぐ・つたえる・健康づくりの輪～
- みつばちウォーク ～プラスせんぽに取り組もう～
- みつばち健康応援隊・中京区公園体操
- 健康すこやか学級
・介護予防の講座、体操、レクリエーション、健康状態の確認等
- こころ・愛・ふれあいネットワーク活動
・精神疾患、障害への理解を深める啓発活動やネットワークづくり



子どもものづくり体験教室

4 チャレンジや創造が生まれるまちづくり

- 子どもものづくり体験教室
・中小企業家同友会中京支部と連携した子どものものづくり体験事業
- 中京区民まちづくり支援事業
- 二条城周辺のまちづくり活動 ～NUKA-DOKO around the Nijo-jo Castle～



中京区・京都堀川音楽高等学校連携事業

文化 5 歴史文化、学藝を次世代につなぐまちづくり

- 中京区応援サイト「なかなか中京」の運営
・中京で活躍する事業者、団体を発掘し魅力を発信
- くらしの中の伝統産業品活用術
- 歴史文化探訪事業
- 中京区・京都堀川音楽高等学校連携事業
・コンサートを通じて地域の文化力向上と生徒の地域活動を促進
- 二条城周辺地域活性化協議会事業

6 自然を大切にするまちづくり

- 京都みつばちガーデン推進プロジェクト
・区役所の屋上緑化や養蜂を通じて環境教育、地域交流を推進
- 地域愛とみどりを育てる環境学習事業



京都みつばちガーデン推進プロジェクト

東山区まちづくり運営方針

基本理念

山紫水明の都 結び合う心 東山の未来

山紫水明の景観と環境、文化を未来に紡ぎ、
人と人が結び合う心でつながりを深め、誰もが安心して、
生き生きと暮らせる東山の未来を築いていきます。

5つの将来像

安心・安全に暮らせるまち

古い木造住宅や空き家、細街路が多い地域特性を踏まえ、日ごろから、地域を
あげて防火・防災対策や防犯・交通安全対策・見守り活動等に取り組むことで、
誰もが安心・安全に暮らせるまちを目指します。

誰もが生き生きと活躍できるまち

複雑・複合的な課題に対して、きめ細やかな支援を継続できるよう、区民・地
域団体・事業者・学校等の多様な主体が垣根を越えてゆるやかにつながり、世代
を問わず支え合う場や機会を創出することで、誰もが生き生きと活躍できるまち
を目指します。

子ども・若者を地域全体ではぐくむまち

地域全体で子どもを見守り育てる包摂性を大切にし、つながり、支え合う子育て
環境を充実することで、子育て世代の孤立リスクを防ぎ、東山区の未来をひら
く全ての子ども・若者の成長を見守りはぐくむまちを目指します。

地域の強みを生かし、新たな活力が創出されるまち

地域のつながり、伝統産業、観光資源等の強みや魅力を次世代へ引き継ぐとと
もに、地域で働く人や学生など、東山区と関わる多様な人々に伝えることで、地
域愛着の醸成、定住促進等を図り、新たな活力が創出されるまちを目指します。

区民生活と観光が相互に尊重される住みよいまち

観光事業者、観光客、区民等がお互いを尊重しながら、地域における共存や調和
を図るための取組を推進することで、持続可能な観光を共に創り上げ、誰もが住み
よいと実感できるまちを目指します。

令和8年度の主な取組

地域防災や市民生活の安心・安全の取組

- ◆ 学区の安心安全ネット継続応援事業
防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策などの分野において、地域が自主的・主
体的に行う安心安全に関する取組を支援する。
- ◆ つながる防災コミュニティの実現
防災訓練等を通して、地域・世代が繋がる防災・減災のコミュニティづくりを推進する。
今年度は、全市的に実施される避難所運営マニュアルの改定に併せて、講演会やワーク
ショップを実施し、災害に強いまちづくりに繋げていくとともに、備蓄物資の充実など、
防災対策を推進する。

地域のつながりを維持・向上させる取組

- ◆ 地域コミュニティHubにおけるマッチング事業
地域の課題・社会資源を幅広く捉え、区内で活動する地域団体や事業者等の掘起こしと、
相互に交流できる場の設定や課題解決に資すると思われる団体等のマッチング支援を行う。
また、課題解決の手法として、「居場所」の創出に取り組む。
- ◆ 東山区民ふれあい事業
区民の区に対する愛着心を醸成し、子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流し、ふれ
あいを創出するため、区民による運営参加の下、「東山区民ふれあいひろば」や「東山区
民ふれあい作品展」を実施する。

健康やいのちを守る取組

- ◆ つながる防災コミュニティの実現【再掲】

人口減少や少子化対策の取組

- ◆ 住んでこそ！東山プロジェクト
区民・事業者・行政が連携し、定住・移住への意欲を喚起する方策を進め、持続可能な
定住意欲の喚起、関係人口の増加及び移住促進へと繋げていく。具体的には、SNSや
ホームページ等を用いて、区民により身近な東山の情報や移住施策等の情報発信を行い、
東山に住む魅力の発信に取り組む。
- ◆ 地域ぐるみで子どもたちをはぐくもう！東山
急速に少子化が進む中で、妊娠・出産や育児の不安や悩みを共有できる同世代の関係が
生まれにくく、子育て家庭が地域で孤立するリスクが増大している。このため、赤ちゃん
が誕生した家庭へ主任児童委員が東山区ならではの祝い品を届ける「東山はぐくみハッ
ピーギフト」事業や、地域の子育て支援機関等と連携した交流会等を通して、子育て家庭
と地域とのつながりづくりを応援し、子育てしやすいまちづくりを推進する。

魅力発信、文化振興等の取組

- ◆ 東山区まちづくり支援事業
地域の様々な課題の解決に向けて、区民等が自発的・自主的に企画、運営するまちづく
り活動の経費の助成、情報交流や活動の伴走支援を行う。
- ◆ 東山区まちづくり運営方針の推進
誰もが生き生きと暮らし、活躍することができる地域社会の実現に向けて、区まちづく
り運営方針の取組を推進します。

心豊かな人と緑の“きずな”のまち 山科区まちづくり運営方針 令和8年度～令和12年度



京都市の東端に位置する山科区は、三方を山々に囲まれた盆地で、疏水や河川も流れる自然豊かな地域です。古くから「京の東の玄関口」として、東国と都を結ぶ交通の要衝であり、現在もJR（琵琶湖線、湖西線）、京都市営地下鉄（東西線）、京阪電車（京津線）の4路線が結節するほか、名神高速道路の京都東インターチェンジを擁するなど、抜群の利便性を誇っています。また、1,400年を超える歴史の中で、脈々と受け継がれた「人やまちの営み」により築かれた、数々の歴史的遺産や、地域の伝統文化・伝統産業、各学区の活発な自治活動、そして、「地域力・つながり」などで、山科の「まち柄」がつくられています。

昭和30年代から50年代までに急激に増加した人口は、平成13年をピークに横ばいに推移し、ここ数年はゆるやかに減少しています。また、近年高齢化が進行し、令和5年には市内で最も高齢化率が高くなっています。

社会動態人口は令和6年度から増加に転じているものの、自然動態人口は減少が続いており、近年その減少幅が大きくなっています。一方、世帯数は、増加を続けており、核家族化と高齢者の単身世帯化が進んでいることが伺えます。

これらの背景から、地域の担い手確保が大きな課題となっています。

そこで、山科区では、山科の「まち柄」を次の世代に引き継ぐため、“多様な人々が住み、学び、つながることのできる文化・教育のまち”を目指す「meetus山科 - 醍醐」の動きとも連携しながら、子ども・若者の育成や、多世代の区民の皆さんの「居場所」と「出番」をつくるまちづくりに取り組んでいるところです。

令和8年度は山科区誕生50周年の年です。この節目を生かし、山科の「まち柄」を土台としながら、区役所が“結節点”となり、地域の様々な主体がつながり、学び合い、支え合い、創り合えるまちづくりを京都基本構想に掲げる「学藝衆」の実践として進め、山科の歴史・風土・魅力を次世代へつなぐ未来像を皆さんと共に描き進めていきます。

まちづくりの方向性

1 地域コミュニティ・自治 ～山科区の地域力・つながりをいかす～

地域力・つながりの強さが山科区の魅力ですが、近年、核家族化と高齢者の単身世帯化が進んでいることから、地域の担い手不足が課題です。これまでに山科区で培ってきた地域コミュニティをいかしたまちづくりを進めるとともに、多様な主体がゆるやかにつながり、新たな共創の形を生み出す取組を進めます。

2 子育て・若者 ～子育て、子ども・若者の育ちを地域で支える～

少子化が進行する中、地域ぐるみで、妊娠前から子ども・若者まで切れ目のない支援を推進し、子どもの学びや居場所づくりを支援します。また、将来の地域活動の担い手となる若者がいきいきと活躍できるよう、成長と社会参加を応援します。

3 観光・産業 ～山科区の特徴をいかし、まちの魅力・活力を高める～

歴史・文化資源や豊かな自然、伝統産業や製造業、農業などの地域産業と、山科区には多種多様な魅力があります。これらの魅力を発信し、観光振興や産業・商業振興につなげるとともに、様々な分野の担い手との学び合いの機会を創出し、次の世代へつなぎます。

4 防災・防犯 ～暮らしの安心・安全を高める～

極端な猛暑や大雨などの異常気象、いつ起こるか分からない自然災害の被害を最小限に押さえるため、一人一人の防災意識を高めるとともに、地域のつながりをいかした助け合える防災体制の充実を目指します。また、子どもの登下校時の見守りや夜間パトロール活動など地域の自主的な防犯活動を支援し、安心安全なまちづくりを進めます。

5 保健・福祉 ～地域における健康と生活を共に支え合う～

年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わることなく、誰もが孤立を感じることもない、生き生きと暮らせるまちづくりを進めます。また、区民の健康意識の向上に努め、地域全体で健康づくりに取り組めるまちを目指します。

6 交通・都市基盤 ～交通・都市基盤を整える～

地域と関係機関が連携し、路線バスなど公共交通の利用促進を図るとともに、地下鉄と路線バスの連携による利便性の向上と公共交通の維持・確保を図ります。また、地域の魅力やポテンシャルを最大限活かし、新しい公共空間の活用を考える取組を進めます。

7 まちの環境 ～次世代へ豊かな環境を受け継ぐ～

水と緑に囲まれた自然豊かな環境を守るため、地域ぐるみで清掃や美化活動に取り組み、美しくごみのないまちを実現します。環境に配慮したライフスタイルや取組を推進し、広く発信することで、一人一人の環境に対する意識向上を目指します。

令和8年度 山科区の主な事業

1 地域コミュニティ・自治 ～山科区の地域力・つながりをいかす～

- 山科区誕生50周年記念事業
- 山科まちづくりチャレンジ応援事業
新たなまちづくり活動にチャレンジする方々を伴走支援
- 大学連携
- 山科区公式LINE
地域の情報を毎月発信
- ふれあい“やましな”2026区民まつり



ふれあい“やましな”区民まつり



山科まちチャレ大交流会

2 子育て・若者 ～子育て、子ども・若者の育ちを地域で支える～

- やましな子育て応援事業
- やましなっこ育ち・学び応援事業
子どもたちが能楽やオーケストラの楽器演奏などを体験
- 子どもの居場所づくり支援事業
中学生、高校生年代の居場所「ゆうすぺーすやましな」を運営



やましなっこ育ち・学び応援事業

3 観光・産業 ～山科区の特徴をいかし、まちの魅力・活力を高める～

- やましな観光振興
山科の魅力を区内外にPR
- 山科検定
山科への理解を深め、愛着を一層醸成



山科疏水

4 防災・防犯 ～暮らしの安心・安全を高める～

- 地域の防災力アッププロジェクト
地域の防災研修会や防災訓練、避難所運営を支援
- 地域力を活かした空き家対策の推進
空き家問題の更なる解決を目指し、相談窓口を開設
- 警察や地域団体と連携した安全なまちづくり



地域の防災訓練

5 保健・福祉 ～地域における健康と生活を共に支え合う～

- やましな健康フェスタ
地域の福祉、医療団体等と協働して開催
- フリースペースをはじめとした誰もが参加できる居場所の設置・運営
誰もが利用、参加できる居場所の設置、運営を支援
- 山科健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」監修コースを歩く健康ウォーキング
山科の歴史や自然を楽しみながら健康づくり



公共交通に関する総合学習

6 交通・都市基盤 ～交通・都市基盤を整える～

- 山科地域公共交通会議の運営
- 地域と連携した公共交通の利用促進事業

7 まちの環境 ～次世代へ豊かな環境を受け継ぐ～

- まちの緑を増やす取組
(山科区フラワーロード推進事業、
笑顔と花いっぱいプロジェクト)
- 山科区2万人まち美化作戦



山科2万人まち美化作戦

下京区まちづくり運営方針

【将来像・目指す姿】

住んでよし 若者や子育て世代に選ばれる、豊かな自然と人のあたたかさが感じられるウェルビーイングなまち
働いてよし 伝統産業と先端産業が集う、歴史と未来が交差し働く人みんなが元気に輝く、活気あふれるまち
訪れてよし 歴史と都市の賑わいが調和する、訪れるたびに新しい出会いがあるまち
学んでよし 地域に息づく歴史や文化、芸術を世代を超えて学び合う、学藝のまち

【まちづくりの方向性】

1 地域コミュニティが元気なまち

持続可能な地域コミュニティづくりに向けて、区役所が人と人・人と活動をつなぐ結節点となり、住民同士のつながりづくりや、地域活動への参加促進、多様な主体の世代や分野を超えた地域活動への参画を進めます。また、社会・地域課題解決の推進を目指し、図書館・学校などの開かれた公共空間づくりや、まちづくり事業へのサポート、地域の方々と様々な団体・事業者との交流機会の拡充、地域活動の ICT 化への支援などの取組を進めます。

2 誰もがいきいきとくらせるまち

はぐくみ文化の推進に向けて、オール下京での子どもと家庭を育む地域ぐるみの環境づくりや、特に支援が必要な子ども・家庭への切れ目のない支援、自己肯定感を高めることができる主体的に学び育つ環境づくりを進めます。また、すべての人に「居場所」と「出番」がある誰一人取り残さない支え合いのまちづくりを目指し、地域の絆や顔の見える関係を構築するための多様な見守り活動や人生 100 年時代を見据えた健康づくりや介護予防などの取組を進めます。

3 自然環境を大切に作る美しいまち

環境と調和した活動を敬い大切に作るまちづくりに向けて、「門掃き」など京のまちに根付く生活習慣を学び大切にするとともに、地域での清掃活動や学区におけるエコ活動の推進、梅小路公園や高瀬川などの自然と触れ合う機会の創出などの取組を進めます。

4 誰もが安心安全にくらせるまち

誰もが安心安全にくらせるまちづくりに向けて、地域の方々と行政だけでない団体・事業者も巻き込んだ地域防災力の強化や、防犯・防火活動、交通安全対策等についての各団体間の連携・協働などの取組を一層推進します。

5 文化・芸術・産業を活かしたまち

地域住民だけでなく世界中からお越しになる方々からも愛されるまちづくりに向けて、伝統産業・生活文化の魅力向上に取り組むとともに、芸術系高校・大学、産業支援機関、京都駅前や商店街等の多様なポテンシャルが存在する強みを活かし、文化・芸術・産業が交差し融合する多様な取組を進めます。また、「京都学藝衆構想」の実現に向け地域におられる特技や技能を持つ方と連携した取組を進めることで、将来にわたってこのまちの自然・歴史・文化・まち柄を継承していくことを目指します。

【推進にあたって】

- 推進期間は令和 8 年度から令和 1 2 年度までの 5 年間
- 行政と区民、区民同士の対話の機会を積極的に創出し、地域の実情やニーズを踏まえたタイムリーな施策を実施します。

【令和 8 年度 下京区の主な取組】

○ 地域コミュニティ活性化事業（まちづくりの方向性 1）

地域の担い手が意見交換を行うワークショップ（下京区長 Meetup（ミートアップ））や、地域活動における ICT 化を支援する。

○ 下京区民“支え合い・絆づくり”支援事業（下京区ふれあい事業）（まちづくりの方向性 1、2、5）

区民の絆をより一層深めるため、地域の魅力発見等を通じて、幅広い年齢層の区民がつながり、支え合い、絆を深める事業を実施する。

○ 下京区まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」（まちづくりの方向性 1）

地域住民・事業者等が地域力を活かして主体的に行うまちづくり活動の、はじめの一步を応援する補助金制度。令和 8 年度は、「学生チャレンジ応援枠」を設け、学生が取り組む活動に対する支援を強化する。

○ 交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト（まちづくりの方向性 1）

「SHIMOGYO+GOOD」採択団体やまちづくり活動を行う学生や事業者、地域住民等、多様なコミュニティの方々の交流を促進する交流会等を、様々なテーマを設定して実施する。

○ 下京みらい数珠つなぎプロジェクト（まちづくりの方向性 2）

「赤ちゃん人形貸出事業」の推進による妊娠期からの子育て支援、下京子育て応援情報誌「子どもねっと下京」やウェブサイト「暮らしたい下京」などによる情報発信等に取り組む。

○ まちなかでのスポーツを通じた子育て支援（まちづくりの方向性 2、5）

プロスポーツ選手による子育て世代向けのアーバンスポーツ等の体験会を区内で定期的を実施する。

○ 地域・子育て情報サイト「暮らしたい下京」による情報発信（まちづくりの方向性 2、5）

地域や子育てに関する情報だけでなく、下京区への定住・移住を検討する方にも役立つ情報を発信することで、「暮らすまち」としての下京区の魅力を区内外に発信する。

○ 健康長寿のまち・下京の推進（まちづくりの方向性 2）

福祉関連団体と連携した地域の健康・福祉課題がテーマのワークショップや、高齢・障害・児童等の分野別の垣根を超えた相談関係機関と地域住民による情報交換会等を実施する。

○ 下京区安心安全ネット継続応援事業（まちづくりの方向性 4）

小学校区や元学区単位に設置された「安心安全ネットワーク」等を継続的に応援し、区役所、学校、警察署、消防署などの関係機関が連携し、防犯、防災、子どもの安全、地域福祉など幅広い分野で安心・安全の確保に取り組む。

○ 下京区総合防災訓練の実施（まちづくりの方向性 4）

大規模災害の発生に備え、下京区防災会議をはじめとする防災関係機関及び自主防災会との連携のもと、災害対応力の向上及び区民の防災意識の高揚のため、下京区総合防災訓練を実施する。

○ 下京・京都駅前サマーフェスタ（まちづくりの方向性 5）

西本願寺、東本願寺、興正寺、京都駅ビル開発㈱、下京区役所等が連携し、京都駅ビル及び周辺エリアで下京区の魅力を発信するイベントを実施する。

○ 京都学藝衆構想の推進（まちづくりの方向性 5）

下京区ならではの伝統文化・産業・芸能等の地域の「学藝衆」の方々と連携し、誰もが下京区の魅力を再発見することができる「学び合う場」を創出するとともに、「暮らしたい下京」を活用した情報発信を行うことで、区内の方の地域への愛着を醸成するとともに、「下京ファン」の増加を目指す。

南区基本計画 (2021－2025)

○ キャッチフレーズ

みなみ力ではぐくむ
みんなの笑顔が
あふれるまち

○ めざす区の未来像

みなみ力
(地域力)が
息づくまち

子ども・若者が
育つまち

健やかに
暮らせるまち

活力あふれる
まち

文化芸術で
つながるまち

いのちと暮らしを
守るまち

美しく環境に
やさしいまち

南区まちづくり運営方針 (2026－2030)

○ 目指す姿（キャッチフレーズ）

みなみ力で誰もがつながる
活力あふれるまち 南区

○ まちづくりの方向性

京都基本構想に基づくキーワード
○多層的でゆるやかなつながり
○支え合い
○「居場所」と「出番」
○京都学藝衆構想

地コミビジョン(※)に基づくキーワード
○地域コミュニティHub
(区Hub)
○ゆるやかさ、しなやかさ
○余白を埋め合う

※京都市地域コミュニティと市民参加に関するビジョン

誰もが住みやすいまち



◎「みなみ力」
南区では、地域での「人と人とのつながり」や「活発な活動」を「みなみ力」と名付けて大切にしています。
これは、区民の皆様をはじめ、学校、事業者、団体、行政等、南区に関わるすべての主体が、手を取り合い、協力し合うことで生まれる“まちの原動力”となっています。

※「みなみ力」を中心に、それぞれの取組は相互に作用し合い、連環するイメージ

※ 図の取組分野は、主要な柱を示したものであり、「誰もが住みやすいまち」を目指し取り組む。

<2026年度（令和8年度）の主要な取組>

- 「地域コミュニティHub」の推進 ●●●●
区役所が結節点となり、区民や地域の多様な主体とのつながり、交ざり合いを促進
区役所別館ロビーで人が集う場づくりを行い、「居場所」と「出番」を創出
- 南区まちづくり、はじめの一步応援事業 ●●●●
新たなまちづくり活動が芽生え続けるため、南区内においてまちづくり活動のはじめの一步を踏み出す方を支援
- マンション等への自治会加入PR事業 ●●●●
新規に建設されるマンションや、自治会・町内会未加入のマンション等を対象に加入を促進
- 南区情報ステーション事業 ●●●●
南区の魅力的な「ひと・もの・こと」をSNSで発信し、区民の地域への愛着を醸成するとともに、南区に興味・関心を持つ方を増やす。
- 南区民ふれあいまつり ●●●●
全学区参加による区民交流の場「南区民ふれあいまつり」を開催
- 地域ぐるみでの子育て支援推進事業 ●●●●
親子同士の交流促進・相談の場づくりの実施及び防災や乳幼児の事故防止に係る啓発等の子どものいのちを守るための取組を充実し、子育てを支援
- 南区子育て魅力発信 ●●●●
リーフレット等による子育て環境の魅力情報を発信し、定住を促進
- 地域福祉活動の支援 ●●●●
民生委員・老人福祉員・社会福祉協議会・福祉事業者等の“地域福祉の担い手”と連携し、見守りや居場所づくりをはじめとする地域福祉活動を支援
- 健康長寿推進事業 ●●●●
世代別の健康増進と健康づくりを通じた区の活性化を目指し、健康づくりに関する普及啓発や健康意識の向上を図るとともに、健康づくりを通じて居場所づくりや参加を支援
- 文化活動の推進 ●●●●
区民主体の「南区民文化フォーラム」「南区民文化芸能フェスティバル」「南区民文化展」等を開催
- 学区の安心安全応援事業 ●●●●
防犯、防災、子どもたちの安全対策等、地域の安心・安全を確保するための取組を支援
- 避難所体験型研修 ●●●●
住民（自治会・自主防災会等）との協働による避難所の開設・運営体験
- 小学校の授業と連携した防災啓発活動 ●●●●
小学校の授業と連携し、防災知識の習得を促進
- 企業・地域連携による地域防災力の向上事業 ●●●●
企業・事業所が多い南区の特徴を生かし、企業等の防災意識の向上、企業と地域の連携を促進する取組を実施

凡例 ●●●● … みなみ力（地域力）で支えあいつながるまち
●●●● … 健やかにいきいきと暮らせるまち
●●●● … 文化をつなぎ未来をひらくまち
●●●● … 災害に強く安全でやさしいまち

右京区まちづくり運営方針



将来像・目指す姿

「誰もが自分らしく輝き、つながりの中で育む、安心して温かいまち」

右京区で「住みたい、住み続けたい」「子育てしたい」「働きたい」「学びたい」と誰もが心から思えるまちを目指す。これまでも右京区が大切にしてきた「温かい人々のつながり」「豊かな自然と文化」「暮らしやすさ」をさらに追求し、区民一人ひとりが地域の一員として「自分の居場所」と「活躍する出番」を見つけ、世代を超えて助け合い、共に未来を育む、そんな安心して活力あふれる地域社会を創造していく。

まちづくりの方向性（中期目標(令和8年度～12年度)）

区役所は、まちづくりの推進とともに、戸籍・住民票に関する住民サービス、保険・年金、福祉に関する業務など、区民生活を支える業務を日々丁寧かつ着実に提供することを使命としており、これらの安定した業務遂行が、安心して住みやすい右京区を形作る土台となっていることを改めて認識し、運営方針の中でもその視点を忘れることなく推進する。

安心安全

防災や防犯、福祉など、区民の安心・安全な暮らしを守る活動を支援するとともに、個人や地域生活における困難な課題をしっかりと受け止め、重層的な支援を展開する。

【自主防災活動や避難所運営活動の支援、重層的支援体制の充実・強化】

むすび・つながる

日々の様々な分野における相談や、区民をはじめ地域を構成する多様な主体と接する中で、ニーズや困りごと、まちづくりへの思いを受け止め、居場所や出番につながる交流の場づくり、つながりや支え合いを創出する。

【地域コミュニティHub、京都学藝衆構想の推進、重層的支援体制の充実・強化】

時代の変化に対応

時代の変化とともに変わり続けていく多様なニーズに的確に対応していくため、組織の垣根を超えたプロジェクトなど、柔軟かつ機動性、創造性のある組織づくりと職員育成を進めるとともに、DXを推進し仕事の在り方を不断に見直していく。

【SANSА交共プロジェクト、地域の多様な主体のネットワーク、地域コミュニティHub】

令和8年度 主な取組

令和8年度のまちづくりの方向性（方針）

区役所が、地域団体やまちづくり活動団体、企業・大学・医療機関等の右京ファンクラブ会員、大学生等が出会い、つながり、交ざり合う「結節点」となり、右京区が持つ文化・自然・産業などの潜在的な力を高め、すべての人に「居場所」と「出番」を創出できるよう取組を進める。

① 地域防災や市民生活の安心・安全の取組

○ 区民による自主的・主体的な地域防災の取組に加え、学生を対象とした啓発を進める。（例：京都先端科学大学の学生・留学生を対象に、災害発生時の対応を学ぶ目的で、起震車、消火器体験に加え、防災クイズ等の取組を実施。）

○ さらに今年度は、地域の防災力向上のため、自主防災会と連携して「右京ファミリー防災フェスタ」を実施し、ファミリー層の防災意識を高め、自主防災組織の取組の強化を図る。

② 「みんなでつくる右京」の推進

○ 区役所が、地域団体やまちづくり活動団体、企業・大学・医療機関等の右京ファンクラブ会員、大学生等が出会い、つながり、交ざり合う「結節点」となり、すべての人に「居場所」と「出番」を創出する取組を進める。

○ 区役所の公共空間等を活用し、右京区のまちが育んできた文化・芸術、祭り、スポーツなど幅広い分野の担い手による多様な魅力に触れ、学び合う機会を提供する（京都学藝衆構想）。これらの取組と地域コミュニティHubの推進により、右京区の潜在的な力を高め、区民の交流を深める。

③ 子ども職業体験事業

○ 私たちの暮らしを支える職業を体験する「こどもシゴト博@右京」を通じて、子どもたちに、働くことの意義や社会の仕組みを学んでもらうとともに、身近にある幅広い職業やその魅力を知ってもらう。また、その経験により、子どもやその保護者が地域への関心を深め、右京区に住みたい・住み続けたい、働きたい・働き続けたいと感じてもらう。

④ 右京子どもの未来応援事業

○ 赤ちゃん訪問や乳幼児健診等の機会を活用し、子育て支援団体の情報に触れやすくすることや、地域での子育て支援や見守りの中心となる右京子どもはぐくみサポーターとの交流の機会を増やしていく。また、地域の子育て支援施設等と公共空間を活用した取組（「あったか子ども広場（仮称）」）を実施するなど、地域に根差した子育て情報の発信と連携で、地域全体で子どもを育むまちづくりを目指す。

⑤ きらっと輝く地域コミュニティ再生事業

○ 多様な地域の特性に即した地域活動の推進に向けた、自主的な地域活動を支援する。
○ 水尾・宕陰・京北の北部山間地域において、各地域が主体となって「地域コミュニティHub」として連携し、空き家情報の収集・発信や各種イベント等の取組により、U・Iターンの促進や関係人口の創出につなげる。

令和8年度 主な取組

①京北地域コミュニティ Hub の推進

これまで京北のまちづくりを進めてきた「京都京北未来かがやきビジョン推進会議」から新たなステージへと進むこととなり、「京都基本構想」の理念を京北の地で具現化するため、地域の皆様が主体的にまちづくりに参画できるよう、新たなメンバーを加え、地域内外の団体や事業者等との連携も見据えた「京北地域コミュニティ Hub」を新たに設置する。「多層的でゆるやかなつながり」でありながらこれまで以上に顔の見える協力関係を形成・促進する会議体を新たに設置する。6地域が「一つの京北」としてのまとまり意識を醸成するとともに、集落形成を維持するための人口維持を目指し、U・Iターンの促進や関係人口の創出に取り組む。

②京北子どもフェスタ「ミニ京北」（仮称）の実施

少子高齢化と人口減少に直面する京北地域において、未来の担い手を育成し、持続可能な発展に取り組む。各種団体や事業者等と連携して実施し、子どもたちの地域への愛着を育み、多世代交流によるコミュニティの活性化を図る。これにより、防災力の強化、新たな魅力の創出、U・Iターン等の促進に繋げ、京北地域一体での発展を追求する。

③未来かがやく京北地域活性化推進事業の実施

未来かがやく京北地域の活性化に向けた取組の推進として、京北地域の魅力を掲載したマップ作製等による情報発信を実施する。

④京北地域活性化支援事業の実施

京北地域に伝わる盆踊りを地域内外の人に体験してもらい、伝統文化として後世に継承していく取組や、「京北ふるさとまつり」などのイベントを通じて、京北住民の交流はもとより、京北地域外からの関係人口の増加及び京北地域への移住（Uターン・Iターン等）等を促進する。また、花と緑で満ちあふれたまちにする「花降る里けいほく」プロジェクトにおいて、花の植栽や京北の桜の名所PRに取り組む。

西京区まちづくり運営方針

＜将来像・目指す姿＞

「西山の自然と文化かがやき　未来をひらく西京区」　～選ばれるまち　西京区へ～

西京区は、京都の西の玄関口として、豊かな自然環境や美しい景観、歴史ある寺社など文化と歴史が調和した特色ある地域です。

区の魅力やまちを育むつながりが多様な主体により創造され、まちの賑わいを醸成するとともに、世代に関わらず、一人ひとりが心地よく交流できる場を広げ、まちへの愛着を育むことで、「訪れたい」が「住みたい」にもつながる、日本一未来が楽しみなまちを目指します。

＜まちづくりの方向性＞

1　豊かな自然・文化・歴史が調和した特色を活かした情報発信と賑わいづくり

西京区ならではの自然・文化・歴史が調和し、豊かな地域資源を最大限に活かした魅力の発信や賑わいづくりを推進。関係交流人口増を定住・移住増にもつなげていきます。

2　子ども、若者にやさしいまちの展開・発信と交流の場づくり

子どもや若者への切れ目ない支援とともに、様々な活動に関わる機会や交流の場づくりをより一層促進。将来への希望を持って社会参画し成長できる環境の実現を目指します。

3　健やかな暮らしの中に生きがいと心の豊かさを育むまちづくり

健康づくりと人とのつながりや地域参加を一体的に捉え、福祉施策を交流促進へと発展させることで、自然と人が集い、豊かな人間関係が生まれるまちづくりを進めます。

4　担い手とまちを創り合うコミュニティづくり

区役所・支所が結節点となり、公共空間をまちに開くとともに、地縁、志縁、各種団体等のまちづくりの担い手との連携を深めます。地域に蓄積された知恵や技術を幅広い世代に紡ぐ学び合いや体験の機会を提供することで、多様な居場所と出番が生まれる機会や環境を創造します。

5　未来につながるインフラの充実

地域の特性に応じた公共交通の利便性向上や利用促進に向けた様々な取組を進めるなど、快適で魅力豊かな都市づくりを進めます。

6　各エリアの特性を活かしたまちづくりの推進

個性あふれる各エリアの魅力を活かしたまちづくりを推進します。

【各エリアの取組例】

＜嵐山東・松尾周辺＞

自然と文化、歴史的環境が豊富な嵐山における、多様な主体が連携し、賑わいの創出とともに、住環境と調和しながら心豊かに住み続けられるまちづくり

＜上桂周辺＞

区役所の総合庁舎化を活かした交流機能の創出や、西京図書館や西文化会館ウエスティ等の文化施設の特性を活かした交流の場づくり

＜桂周辺＞

西京区の玄関口である阪急桂駅前を中心とした賑わいづくり・魅力発信。交通利便性を活かした、あらゆる世代をひきつける活気あるまちづくり

＜洛西地域＞

豊かな緑と都市機能が調和する快適な住環境に加え、自動運転バスの社会実装に向けた取組や洛西ニュータウン・タウンセンターの再整備を控える都市部と、悠久の自然と歴史に育まれ、竹や農産物などの地域資源にも恵まれる周辺部が各々の強みを活かすとともに、都市部と周辺部が融合した次代の郊外都市の創造を目指したまちづくり

令和8年度　西京区役所の主な取組

西京区では、京都基本構想、新京都戦略、京都学藝衆構想を念頭に、区役所が「結節点」となり、すべての人の「居場所」と「出番」を創出し、地域活動における「つなぐ・むすぶ・交ざり合う」取組を通じて「新しい公共」を推進します。これに当たり、令和8年度に迎える区制50周年を契機として、地域の多彩な学藝を取り巻く方々などとの連携のほか、地域課題・特性に応じた取組を積極的に創出します。また、都市としての西京区の更なるブランディングを図ることで、関係・交流人口、定住・移住人口の増につなげ、「選ばれるまち—西京区」の実現を目指します。

【令和8年度の施策】

施策1　地域防災や市民生活の安心・安全の取組

- 地域住民の生活に深くかかわる防災、子育て等を切り口とした取組等により、自治会の活動内容等に触れる機会を増やすことで、自治会加入の促進につなげます。
- 防犯や防災、子どもや高齢者等の安心・安全などの地域課題に対処するため、学区単位で立ち上がったネットワークによる活動に対して、自主的・主体的に取り組めるよう支援します。
- 西京区防災サポーターとも連携し、区民の自助力・共助力の向上を目指した事業を展開することで、地域防災力の強化につなげます。

施策2　地域のつながりを維持・向上させる取組（「つなぐ」機能強化など）

- 西京区役所の庁舎を本のある居心地の良い空間にアップデートし、若者の居場所となるサードプレイスを創り上げる取組を進めます。
- 区役所が「結節点」となって、多様な主体同士を積極的に引き合わせるコーディネートを実施し、連携する機会を創出します。
- 西京区役所東庁舎の区民交流ロビーを活用し、区社協をはじめ、福祉事業者・関係者等とのつながりや地域内外の人材の交ざり合いを促進し、多様なコミュニティを形成する「POP UP！西京」推進事業を実施します。
- 区内各学区・地域自治連合会をはじめとする多様な主体のつながり、結びつき、交ざり合い、学び合いを促進するため、これまでの実施手法にこだわらない新たな「ふれあい事業」を展開し、区民交流の機会を創出することで、地域に対する愛着の高揚を図ります。

施策3　健康やいのちを守る取組

- 医師会・歯科医師会・薬剤師会をはじめ、地域保健に関わる関係機関と協働し、区民が楽しみながら健康に関する知識を深め、日常生活での健康づくりに意識的に取り組めるよう、情報発信や啓発を行います。
- 地域住民の疾病予防や健康づくりの支援を目的に、区内の病院と協働し、医師、看護師、医療スタッフが地域に出向き、医療や健康に関するテーマで講座を実施します。

施策4　人口減少や少子化対策の取組

- 地元自治連や地元店舗、鉄道事業者、地域企業、子育て団体、京都市観光協会等と連携のうえ、エリアブランディングのためのにぎわい創出事業（にしきょう CONNECT）を実施し、区内外へ発信することで、関係・交流人口の創出、ひいては、定住・移住の促進につなげます。
- 西京区（本所管内）で出産された子育て世帯に対して、地域の子育て支援者が地域の子育て情報の提供とともに「お祝いギフト」をお届けし、地域ぐるみで出生を祝い、子育て世帯が地域に出掛けることで地域に愛着を持ってもらい、地域の活性化や地域への定着を図ります。
- 区内関係機関・団体と連携し、子どもの健やかな発達・発育や子育てを地域ぐるみで大切に見守り支える「はぐくみ文化」の推進に取り組むとともに、継続的な子育て支援事業の展開により、安心して子育てできる環境づくりと児童虐待の未然防止を図ります。

施策5　魅力発信、文化振興等の取組

- 西京区（本所管内）のカフェやベーカリー等の店舗に、まちづくり活動に係る情報や西京区の魅力の発信拠点になってもらうとともに、店舗や周辺エリアの魅力を効果的に発信することで、西京区の新たな魅力の創造につなげます。
- 地元自治連合会や鉄道事業者、観光協会等と連携し、区内の歴史・文化を有する寺社等を巡るまちあるきツアーを通じて、西京区の魅力を区の内外に広く発信します。

令和８年度　洛西支所の主な取組

令和８年、洛西ニュータウンは誕生から５０年の節目を迎えます。この機会を、過去を振り返るだけでなく、次の５０年を見据えた「洛西リスタート」の年として、５０周年記念事業を始めとした取組を進めます。

また、京都基本構想、新京都戦略、京都学藝衆構想を念頭に、公共空間をまちに開きながら、人と地域を結ぶ結節点としての役割を果たします。誰もが「居場所」と「出番」のあるまちづくりを進め、住民の思いに寄り添い、共に進む伴走者となることを目指します。

【令和８年度の施策】

施策１　公共空間を活かした新たな取組と、みんなが学びあう京都学藝衆構想の推進

- 地域の歴史・文化・産業等を担う洛西ならではの「匠」と若者や子どもが共に学ぶ場を創出し、地域の価値を継承しつつ、新たな文化と受け継ぐ人材を育みます。
- 支所や図書館、タウンセンターなどの公共空間を活用する「まちなかりビング事業」を通じ、多様な主体がつながり、賑わいづくりや区民の居場所と出番を創出する仕組みを構築します。

施策２　安心安全を基盤とした地域力の向上

- 学区の安心安全ネット継続応援事業により、防災、防犯、高齢者や子どもの見守りなど、身近な課題に地域自らが取り組む体制を支援します。
- 防災出前事業や地域の立地状況に応じた「避難所マニュアル」の改訂の実施などにより、区民の自助・共助の意識を高め、地域の防災力の向上を目指します。

施策３　健康づくりと社会参加の一体的推進

- 「みんなで踏みだす第一歩！」をスローガンとし、歩けるからだづくりを中心としたフレイル予防の取組を推進。関係機関や民間との連携により健康づくりの輪を広げ、健康寿命延伸を目指します。
- 洛西ニュータウンまちびらき 50 周年の節目に合わせ、健康を改めて見つめなおすとともに、健康づくりを地域の住民交流に活かす「洛西健康 EXP02026」を、医療機関や企業等とともに開催します。

施策４　地域ぐるみで「子育てしたい」まちづくりの推進

- 住んで子育て Welcome 洛西プロジェクトにより、地域ぐるみで子育てを支える事業を展開するとともに、子育て応援者の拡充に向けた取組を図り、地域に根付いた「はぐくみ文化」を発信します。
- たけっこぐんぐんプロジェクトを通じて、親子が地域とつながることで、子ども・子育て世帯の居場所や交流機会の創出等、孤立防止を図り、子育て世帯が地域に愛着を持ち安心して子育てできるまちづくりに取り組みます。

施策５　まちびらき 50 周年を契機としたまちの魅力の磨き上げと発信

- 50 周年をみんなで祝う多彩なイベントの開催で、暮らしと楽しさが共存する魅力を体感できる機会を創出します。
- 竹林文化や農、歴史など、洛西の本質的な価値を体験できる観光プログラムの充実を図るため、地域や民間事業者と連携し取り組みます。
- 自然、文化、暮らしやすさに関する情報の発信や、洛西ニュータウン 50 年の歴史を振り返るメモリアル展の開催など、地域の魅力を未来につなげる、持続可能なまちづくりに取り組みます。

施策６　広域連携による京都西山エリア価値の向上

- 京都西山はいいぞ！魅力発信プロジェクトや向日市との交流事業を通じて、洛西を起点とした周辺地域との連携を強化し、京都西山エリアの更なる魅力向上を図ります。

施策７　交通環境の改善・充実

- 自動運転バスの社会実装に向けた取組や、高齢者にやさしいモビリティの検討を進めます。また、大原野地域における交通環境の維持・向上を地域住民と支所が連携し、関係機関とともに検討します。

伏見区まちづくり運営方針

【まちづくりの目標】

「歴史、文化、産業を学び合い、未来へ紡ぎ、
誰もが愛着を感じるまち伏見」

伏見区は、市内最大の人口に加え、悠久の歴史の中で培ってきた文化や産業、豊かな自然環境と多様なコミュニティを有する地域です。それぞれの地域の特徴を活かし、多様な人々がつどい、つながり、支え合う関係を構築するとともに、すべての人に「居場所」と「出番」があり、誰もが幸せを感じ、生きがいを持って活躍できるまちづくり、また、将来にわたり住み続けたいと思える「伏見への愛着」をはぐくむまちづくりを目指します。

【まちづくりの方向性】

● 地域の「絆」で互いに支え合い、誰もが安心安全に住み続けられるまち

● 地域ぐるみで子ども・若者の健やかな成長を育み、全ての世代が生きがいを持って健康に暮らせるまち

● 伏見で紡がれた歴史、文化、産業を互いに学び合うとともに、豊かな自然を守り、地域の魅力を再発見し、これらを次世代へ継承していくまち

● 伏見が長年にわたり継承してきた、ものづくりや食、商業、観光等の産業を基盤とした、新たな価値の創出による経済・産業・観光振興のまち

【令和8年度 伏見区の主な事業】

【三所共同事業等】

- ・ 区民ふれあい事業 ●●●
区民相互のふれあいの場の創出や世代間・分野間の交流を深める持続可能な取組を進める。
- ・ 伏見区区民活動支援事業 ●●●●
地域課題の解決に向けた、地域や民間の主体的な取組を支援する。
- ・ 学区の安心安全ネット継続応援事業（安心生活推進プロジェクト） ●
地域主体の安心安全の取組を支援する。
- ・ 地域防災支援プロジェクト ●
地域の防災活動や区民の防災意識の向上に向けた取組を展開する。
- ・ 伏見魅力発信パートナー制度 ●●
伏見の奥深い魅力発信のため、民間等の多様な取組を支援する。
- ・ わくわく学び塾「ふしみどころ」 ●
区内企業等と連携し、伏見の魅力を再発見する学びの場を提供する。

【伏見区役所】

- ・ 未来を担う「ふしみっ子」はぐくみプロジェクト ●
子育て家庭が安心して子育てできるよう支援するとともに、地域ぐるみで子育てができる環境づくりを推進する。
- ・ 子育てや仕事で忙しい世代のためのからだづくり ●
忙しい世代でもすき間時間に実行できるような健康的な生活習慣について学び、自身の生活を振り返る機会をつくる。

- ・ 伏見まちづくり紡ぎプロジェクト ●

伏見に集う多様な主体がつどい、つながり、交じり合う機会を多層的に創出するため、地域の自主的な活動を一層促進するための取組を新たに進めていく。

- ・ 伏見地域の経済・観光振興 ●

伏見港の水辺空間の魅力向上や舟運における「京都の玄関口」としての伏見の魅力創造、発信及び伏見の更なるブランディングに努める。

【深草支所】

- ・ 地域のまちづくりサポート事業 ●

幅広い分野で地域活動に取り組む地縁組織等の活動の支援を通じて、地縁組織の活動を活性化させ、地域の安心安全なまちづくりをより一層推進する。

- ・ 地域ぐるみで子どもをはぐくむまち・深草 ●

様々な関係団体と連携し、子育て世代と「つながり・支え合う」関係づくりを後押しする取組などを行い、深草地域の活性化と子育て世代の定住・移住促進を目指す。

- ・ ここ（心）から（体）元気に！健康長寿のまち・深草 ●

幅広い年齢層を対象に、地域において区民が主体的に健康づくりに参加する機会を創出することにより、地域ぐるみで健康づくり事業を推進する。

- ・ 深草ファンによる地域活性化プロジェクト ● ●

深草ファンを起点とした地域主体のまちづくりを推進し、豊かな自然、伝統文化、近代の文化遺産や教育機関の知が集積する深草のまちで培われている学藝を、セミナーやワークショップで体感することにより未来に紡ぐ。

【醍醐支所】

- 「醍醐地域コミュニティH u b」による取組の推進

「醍醐まちづくりカフェ」などの醍醐支所が多様な主体の結節点となる地域コミュニティH u bの取組を通して、すべての人に「居場所」と「出番」の創出を目指す。

- みんなで創るワクワクだいがプロジェクト

人口減少が顕著な醍醐のまちの今後に向けて、地域の魅力を再発見・発信する。併せて、地域の「絆」で子育て家庭を支える環境づくりを推進し、若者・子育て層の定住・移住につなげる。

<事業内訳>

- ・ meetus山科・醍醐の推進 ● ● ● ●

meetusの機運醸成を図ることで、将来にわたり醍醐地域に住み続けたいと思える地元愛の醸成を図る。

- ・ 特色ある学習・体験プログラム創出事業 ● ●

すべての子ども達が自身の可能性を最大限に発揮できるよう、企業等と連携し、特色のある学習・体験機会の拡充、提供に取り組む。

- ・ 子育てしやすいまち、子どもを育むまち醍醐 ● ●

子育て支援団体等と連携し、子育てイベントを実施することで団体間の交流・連携を強め、子育てしやすいまちの発展を目指す。

- ・ 地域を挙げて支える「だいがっこ」の育み ●

地域の子育て応援者の連携をより一層進め、「だいがっこ」のはぐくみを支える多様な取組を推進する。

- ・ 住むまち・醍醐の魅力再発見事業 ●

醍醐の魅力を発掘・再発見・発信していくことで、若者・子育て世代を中心とする幅広い層の定住・移住の促進を図る。